

受験勉強は「余裕」と「ゆとり」をもって行おう

- 受験勉強に全エネルギーを使い切らないように -

開倫塾

塾長 林 明夫

<受験勉強は「余裕」と「ゆとり」をもって行おう>

Q：試験まではあと4～6か月しかないのに、受験勉強を「余裕」や「ゆとり」をもって行うなど考えられません。どういうことですか。

A：(林明夫：以下省略) たしかに、今は9月の初旬で、私立高校の学業特待試験や大学センター試験のある1月まではあと4か月しかありません。また、県立高校入試や有名私立大学や国立大学の独自試験のある2月中旬から3月初旬までは約6か月しかありません。入試まで4～6か月しかないのに、「余裕」と「ゆとり」をもって受験勉強を行うというのは考えられないかもしれません。

しかし、熱心にものごとに向かえば向かうほど、自分のやっていることがわからなくなることが多い。非効率なやり方でやっていることも多い。間違った方向に進んでいることも多い。そこで、私が皆様にお願ひしたいのは、人生を懸けて自分の未来を自分の手で切り拓(ひら)くことは尊いことだが、そんな時ほど心に「余裕」や「ゆとり」をもってもらいたいということです。

Q：心に「余裕」や「ゆとり」をもってどうしろというのですか。

A：今やっている勉強の内容や勉強の仕方、生活の仕方を、一日一回は振り返ってもらいたいということです。ただ新しい内容を追いかけて、どんどん前に進むのではなく、一日一回は、その日の勉強を振り返る時間を予めつくっておく。先生や友達の顔や声を思い出しながら、学校や開倫塾で今日勉強した内容をもう一度振り返って頂きたく希望します。

そのときに、今日の授業中に取った「ノートを整理」することや「語句の意味を辞書などで確認」することは、「理解」を促進する上でとても役立ちます。「音読」、「書き取り」、「計算・問題」の3大練習は、大学入試の受験生にも欠かせません。英語や現代文、古文、漢文、社会、理科の問題文や設問、選択肢などはすべてスラスラ読めるようにすること。「～は～だ」ということばの意味、定義は全科目とも正確に楷書(教科書の書体)で書けるようにすること。全科目とも、一度やった問題を5～10回やり直し、問題文を見た瞬間に正解できるまでにしておくことが大切です。

これだけで、大学入試でも高校入試でも、誰でも偏差値は60以上になります。

いいですか。毎日一回は、心に「余裕」と「ゆとり」をもってその日に学校と開倫塾で勉強した内容を、以上のように「振り返ること」。これが受験勉強のコツです。偏差値アップの極意です。

Q：よくわかりました。心に「余裕」と「ゆとり」をつくるためにはどうしたらよいのですか。

A：効率よく時間、つまり一日を過ごすことです。明日一日をどのように過ごすか、手帳をよく見て前日によく計画を練って下さい。朝起きたらたとえ1～2分でもよいですから、今日一日どうするかを手帳をよく見て確認して下さいね。ボーッとしていると、アツという間に夜中になってしまいますよ。

できれば一週間に一回は、20～30分くらい使ってその週の勉強や生活を振り返り、来週に備えて下さい。計画と実行。これが受験勉強のコツです。偏差値アップの極意です。

<受験勉強にすべてのエネルギーを使い切らないように>

Q：受験勉強にすべてのエネルギーを使い切らないようにとは、どういうことですか。すべてのエネルギーを使わないと合格できないのではありませんか。

A：受験勉強にすべてのエネルギーを使い切ってしまうと、来春せっかく希望校に合格しても「抜けガラ」のようになってしまうからです。

人生の目的を達成するために勉強して希望する高校や大学に入学したのに、受験勉強で燃え尽(つ)きてしまっただけでは何にもなりません。受験勉強は、少しだけでよいですから心に「余裕」や「ゆとり」をもってやって下さいね。

Q：どうしたらよいのですか。

A：受験勉強をしていると頭がさえ渡ってきますので、いろいろな勉強がしたくなります。得意科目は、次の学年のものまでやさしい参考書を本屋さんで買い求めて少しやってみましょう。

教科書で紹介されている作家や著者の本を一日何分か読むこと。家や学校の図書館にある新聞を、一面からなめるように40～60分くらい読むこと。本や新聞をじっくり読んで、自分は何のために、また、何をするために希望する学校に進学して勉強するのかをじっくり考えること。本や新聞を読んで志(こころざし)を高く持って生きるとは何かを考えることを、私は受験生の皆様に強くお勧めします。

Q：最後に一言どうぞ。

A：成績のよい生徒、学力の高い人間に共通することは、学校で習ったことをよく「理解」し、「定着」、つまり身に付けていること。それと同時に、勉強の仕方を身に付けていること。本や新聞をじっくりと深く読み、熟慮・熟考する力があること、思慮深いこと、自分自身を振り返る力のあることであると言われていました。

ただ、一番大切なのは、皆様の健康(心の健康と身体の健康)です。くれぐれもお体を大切に。新聞を含む読書と勉強の方法、健康が受験勉強のコツです。偏差値アップの極意です。

- 8月14日記 -